

PRESS RELEASE

BNPパリバ・アセットマネジメント、 サステナブル投資の強化と全社的なサステナビリティ戦略を発表

- サステナブル投資の取り組みを強化・推進する全社的な戦略です。
- 全運用資産にわたって明確な定義とともに適用し、ESG インテグレーション、スチュワードシップ、投資対象除外、フォワード・ルッキングの観点を4つの柱とします。
- 全社的に目標を設定し、投資と持続可能な将来との整合を図ります。エネルギー転換、環境の持続可能性、平等、および包括的な成長に関連する主要業績指標(KPI)を定めます。
- 専門組織であるサステナビリティ・センターに25名を配しています。2018年半ば以降14名を新規に採用しており、平均10年以上のサステナブル投資に関する経験を有しています。

BNPパリバ・アセットマネジメント (BNPP AM)は、全社的なグローバル・サステナビリティ戦略を導入することで、サステナブル投資に向けた取り組みを強化していきます。これは、長期的に持続可能な投資リターンをお客様に提供するというBNPP AMの狙いに沿ったものであり、また、持続可能な将来の実現への貢献を更に前進させるものです。

当戦略では、サステナブル投資に関する明確な目標とコミットメントを設定し、持続可能性に関する3つの主要なテーマであるエネルギー(Energy)転換、環境(Environment)と平等(Equality)(3つのE)に焦点を当てることにより、BNPP AMのアプローチを詳細に説明しています。それによって、BNPP AMが長期的な投資に組み込み、ベスト・プラクティスを促進するために企業や規制当局との対話を促進する(エンゲージメント)というコミットメントを強化し、また、金融が持続可能な世界の実現において果たすことができる役割について、認識を高めることができます。

当戦略は、サステナブル投資に関する4つの柱で構成され、それぞれに明確な実行計画を設定しています。これらは、長期的な投資とリターンの実現、投資アイデアの創出、リスク管理、企業や市場への影響力の活用などのプロセスを総合的に強化します。

4つの柱の内容は以下のとおりです。

- **ESG インテグレーション:** BNPP AMはESG(環境、社会、ガバナンス)要因を、投資哲学、リサーチ、アイデア創出、ポートフォリオ構築、リスク管理、エンゲージメント、議決権行使、情報開示およびレポートングといった投資プロセスに統合します。このESGインテグレーションは、正式なガイドライン(2018年策定)とESG検証委員会(2018年設立)によって管理されます。最終的な目標は、2020年までに当委員会が全ての投資プロセス(つまり全ての投資戦略)を見直し、承認することです。
- **スチュワードシップ:** BNPP AMはアクティブな株主、勤勉な投資家として、ESGの諸問題に関する詳細な議決権行使ガイドラインを長年にわたり保有してきました。当戦略を通じて、投資先企業とのエンゲージメントから、気候や自然資本といった問題における政治家・規制当局、業界団体への積極的な関与に至るまで、スチュワードシップに関するアプローチを強化します。BNPP AMは、欧州委員会のサステナブル・ファイナンスに関するテクニカル専門家グループ(TEG)、気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)、気候変動に関する機関投資家グループ(IIGCC)、その他の多くの



BNP PARIBAS
ASSET MANAGEMENT

The asset manager
for a changing
world

取り組みに参加しています。また、最近アジア・パシフィック地域と米州地域においてスチュワードシップの責任者を任命し、スチュワードシップの体制を強化しました。

- **責任ある企業行動指針および商品段階での投資対象除外:** BNPP AM は国連グローバル・コンパクト原則に従い、特定セクターへの投資に関する条件を定めたセクター・ポリシーを保有し、スクリーニングやエンゲージメントに関する指針を定めています。セクター・ポリシーは、すべてのオープン・エンド・ファンドに適用されます。例として、BNPP AM が最近公表した燃料炭の採掘や石炭を原料として発電を行う企業を対象にしたより厳格な除外方針⁽¹⁾が挙げられます。
- **フォワード・ルッキングの観点- 3つの E:** BNPP AM は「3つの E」に関する目標と KPI を開発し、これらを活用しながら、投資リサーチ、ポートフォリオ、企業や規制当局とのエンゲージメントにおける整合を図っています。KPI には以下の項目が含まれます。
 - IEA の持続可能な開発シナリオ (SDS) 対比での BNPP AM の投資における二酸化炭素排出原単位 (gCO₂/kWh); 運用資産残高に占めるグリーン比率 (エネルギー転換; SDG の 7、9、13)
 - BNPP AM のポートフォリオにおける水資源利用量や、森林破壊禁止、泥炭地開発禁止、搾取禁止の方針 (NDES) を支持あるいは導入する企業数 (環境のサステナビリティ; SDG の 6、15)。
 - 取締役会における女性比率、より持続可能な資本配分の決定を促進するエンゲージメントの数 (平等及び包括的な成長; SDG の 5、8、10)。

BNPP AM は、今後 3 年間に当戦略を導入するロードマップを作成しました。また、2020 年には、サステナビリティ・イニシアティブの効果と進捗状況に関する測定と報告を導入して、3 つの E に関連し、かつ特定の SDGs にリンクした新たな長期目標を追加的に導入する予定です。

BNPP AM の持続可能性への取り組みは新しいものではありません。BNPP AM 初の社会的責任投資 (SRI) ファンドを創設した 2002 年以来、サステナブル投資において大きな役割を果たしてきました。PRI の年次報告書で、BNPP AM は過去 3 年連続で最高ランクの A+ を付与され、BNPP AM のサステナブル投資に対するコミットメントが評価されています。

BNPP AM のアプローチは、サステナブル・ファイナンスにおける BNP パリバ・グループの主導的な取り組みと完全に一致しています。当グループは、倫理に配慮したファイナンス、従業員の能力開発促進、社会的インパクトのあるイニシアティブ支援、低炭素経済移行における役割などを特に志向しています。それゆえ国連 SDGs に対して大きな貢献をしたいと願っています。

フレデリック・ジャンボン (Frédéric Janbon) CEO のコメント: 「私たちは岐路に立っています。パリ協定や SDGs が求めるように、持続可能な将来の達成のために金融界が断固とした役割を果たす時です。BNPP AM はこの課題に取り組むことを誇りに思います。この課題はお客様の利益にかなうものであり、私たちの受託者責任の中心にあるものです。当戦略およびそれに関連するチームやシステムへの投資は、私たちの強い意志の反映であり、投資プロセスのみならず、従業員、企業、政策決定者、広い社会との関わり合いにいたるまで、私たちが行なうすべてにおいて、サステナビリティを組み入れる青写真を示すものです。これは、BNPP AM の企業戦略および長期にわたって持続可能なリターンをお客様にご提供する BNPP AM の能力の中心となるものです。」

ジェイン・アムバクシア (Jane Ambachtsheer) サステナビリティ・グローバル・ヘッドのコメント: 「資産運用会社として、私たちは世界に影響を与えて"将来の形成者"としての役割を果たすことに貢献できる可能性があります。当戦略を通じて、サステナブル投資におけるリーダーシップの基準を設定していきたいと思えます。また、私たちのサステナブル投資のアプローチと意志をはっきりお伝えするといったことだけでなく、お客様および経済へのインパクトや達成度を測定できる明確な目標を設定しています。BNPP AM がこのような高い目標を設定した戦略を導入することを誇りに思います。そして、運用チーム、お客様、および業界関係者と協力して、低炭素で包括的な将来を実現するために BNPP AM の役割を果たしていくことを楽しみにしています。」



BNP PARIBAS
ASSET MANAGEMENT

The asset manager
for a changing
world

この件に関するお問い合わせ先

BNPパリバ・アセットマネジメント株式会社

マーケティング本部

03-6377-2819

LIST.AMJP.Marketing@bnpparibas.com

BNPパリバ・アセットマネジメントについて

BNPパリバ・アセットマネジメントは、世界有数の金融機関である BNP パリバ・グループの資産運用部門であり、質の高い投資ソリューションを個人投資家、企業、機関投資家に積極的にご提供しています。ファンダメンタル・アクティブ株式、グローバル債券、マルチ・アセット・クオンタティブ・ソリューション (MAQS)、プライベート・デット・アンド・リアル・アセット (PD&RA) の 4 つの運用チームを通じて、幅広い運用能力を提供しています。BNPパリバ・アセットマネジメントは、サステナビリティを企業戦略及び投資プロセスの中心に据え、エネルギー転換、環境の持続可能性、平等、包括的な成長を積極的に支援しており、長期的に持続可能な投資リターンをご提供することに重点を置いています。運用資産総額は 3,990 億ユーロ (約 50 兆円、投資助言契約を除く)*、530 名以上の運用プロフェッショナル、約 500 名の顧客担当者が在籍しており、世界 71 か国において個人投資家、企業、機関投資家向けにサービスを提供しています。(2018 年 12 月 31 日現在)

*投資助言契約を含んだ運用資産総額は、5,370 億ユーロ (約 68 兆円) です。(2018 年 12 月 31 日現在)

(1) BNPP AM は 2020 年より、燃料炭の採掘が売上高の 10% 以上を占める企業かつ (あるいは) グローバルな生産高の 1% 以上を占める企業を投資対象から除外します。グローバルな生産高に関する制限は、燃料炭の売上比率が 10% 未満であっても、絶対的な生産量からみれば高水準な生産レベルにある企業を捕捉します。また、BNPP AM では二酸化炭素排出原単位が 2017 年の世界平均である 491kg/kWh を超える発電会社を投資対象から除外し、これによって IEA の SDS に規定された同セクターに関するパリ協定の内容に従います。IEA の SDS は、発電会社の二酸化炭素排出原単位を 2025 年までに 327kg/kWh に低下させることを要求しています。BNPP AM では、発電企業に対し、2020 年から 2025 年の間の二酸化炭素排出原単位をそれに見合う水準に低下させることを求め、達成できない企業を投資対象から除外する予定です。



BNP PARIBAS
ASSET MANAGEMENT

The asset manager
for a changing
world